

細胞マーカーを使って血中循環腫瘍細胞を捕捉

# 自動 CTC 捕捉装置

“ポリマーCTCチップ”に検体、洗浄液、試薬、抗体などを自動で供給。CTC捕捉、細胞染色まで行います。

高いCTC捕捉性能を持つチップ

作業時間の短縮  
人的負担の軽減  
再現性の確保

標準プログラム（装置付属）により下記の処理を自動で実行します

CTC捕捉

細胞  
固定処理

膜浸透処理

抗体染色

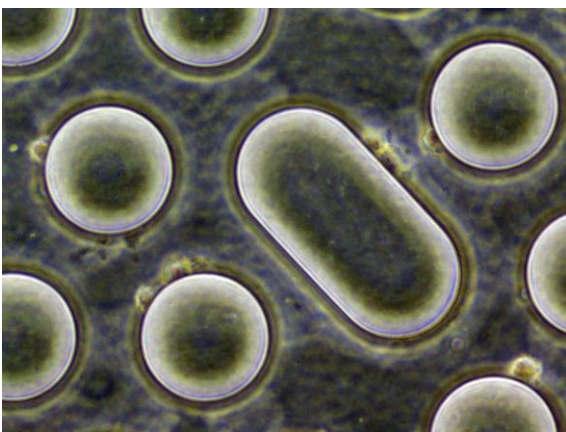
核染色  
(二次抗体染色も含む)

- ◆ 標準プログラムは、発表論文で使用された試験プロトコルに沿って作成されました。
- ◆ 処理の進行に合わせ、検体などの各サンプルが自動でチップに供給・送液されます。
- ◆ 試験パラメータ（サンプル量、送液速度、インキュベーション時間等）は変更できます。
- ◆ ユーザーさま確立の試験プロトコルに沿った自動処理プログラムが作成可能です（受注作成可）。
- ◆ 2チップによる2検体の同時捕捉などに対応でき、拡張性があります。

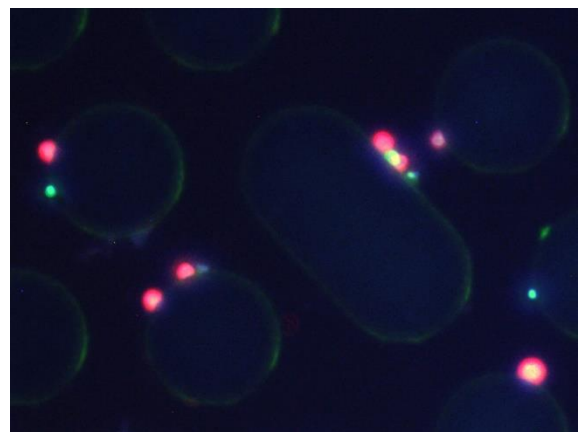
標準プログラムによるがん細胞捕捉・染色テスト

捕捉細胞画像

位相差像



蛍光像（merge 画像）

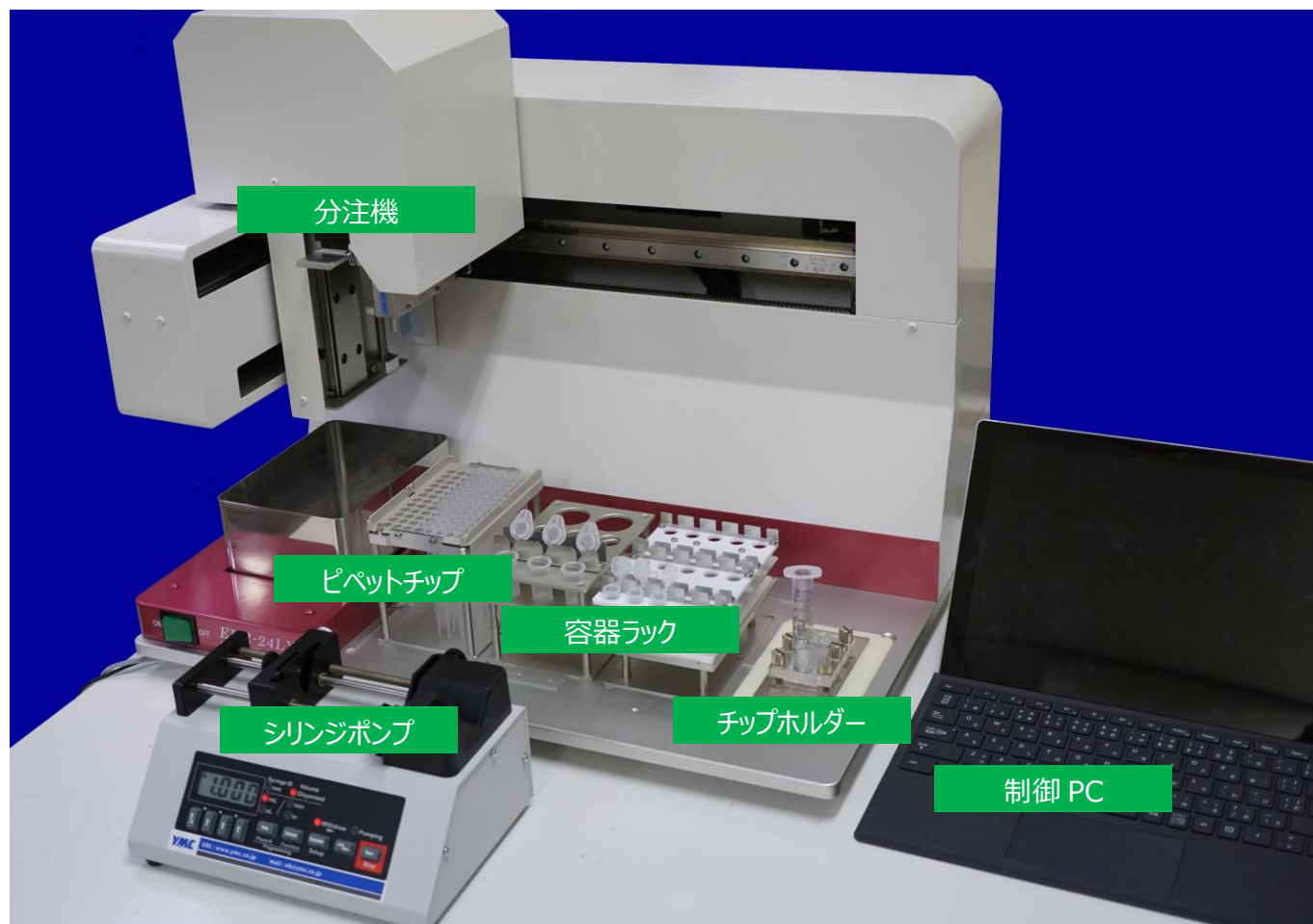


赤：がん細胞、緑：白血球

検体：食道がん細胞（KYSE220）／健常者血液

蛍光染色：蛍光標識抗体、核染色剤によりサイトケラチン（赤）、CD45（緑）、核（青）を染色

## 装置構成



## 操作手順

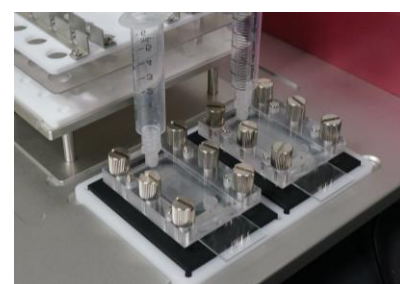
1. シリンジポンプに指定シリンジをセットします。
2. チップホルダーにポリマー-CTC チップなどをセットします。
3. シリンジとチップホルダーをチューブで接続します。
4. 各指定容器に検体などの各サンプルを入れ、ラックの指定位置に配置します。  
▶▶▶制御 PC のプログラムを実行し CTC の捕捉・染色を自動で行います。



ポリマー-CTC チップを  
チップホルダーにセット (血液送液中)

## ● 仕様

品名	自動CTC捕捉装置
寸法	約57 x 61 x 45cm (PCを除く)
重量	約25kg
電源	100V、3口必要



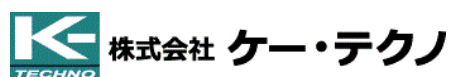
2 検体同時捕捉用チップホルダー  
(オプション)

本品は

CTC 臨床応用研究会、Liquid Biopsy 研究会世話人  
産業医科大学 第2外科 非常勤講師  
大永 崇 博士 (工学)

のご指導により商業化されました。

ご用命は



〒939-8181 富山県富山市若竹町 5 丁目 58 番地

TEL: 076-429-2661

FAX: 076-429-5628

URL: <http://www.k-techno.toyama.jp/about.html>